

事業名	赤潮発生状況
予算区分	受託研究費・水産研究費（県単）
事業実施期間	（継続事業）
担当者	（環境増養殖担当）岡本裕太、川上萌、池脇義弘
共同研究機関等	

<目的>

令和6年に徳島県沿岸域で発生した赤潮について、公式に記録することを目的とする。

<方法>

漁場環境調査等における観測や漁業者からの聞き取りを元に、赤潮の発生期間、発生海域、赤潮構成種及び漁業被害についてまとめた。

<結果>

表1に令和6年の赤潮発生状況、図1に赤潮発生件数と被害件数の推移、図2に赤潮発生海域をそれぞれ示した。令和6年は、5件の赤潮が発生し、うち1件で漁業被害を伴った。

表1. 令和6年の赤潮発生状況

番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種	漁業被害	最高細胞密度 (cells/mL)
1	3/19～3/26	8	小松島市和田島町地先	<i>Eucampia zodiacus</i>	不明	356
2	6/27～7/8	11	鳴門市北灘町沿岸	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	4.21
3	7/16～7/22	7	鳴門市北灘町沖合	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	2.34
4	9/4～9/13	10	鳴門市ウチノ海	<i>Karenia mikimotoi</i>	無	868.3
5	9/27～10/30	34	鳴門市ウチノ海	<i>Heterocapsa circularisquama</i>	有	1,525.0

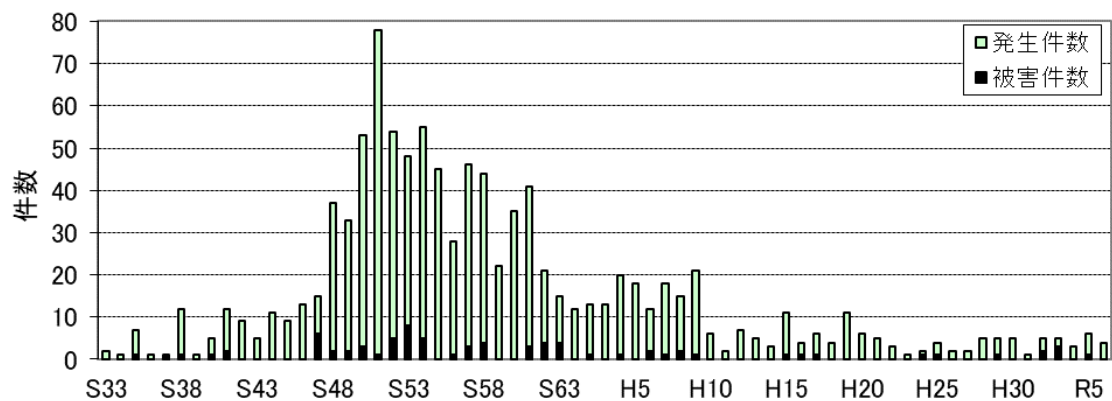


図1. 赤潮の発生件数と被害件数の推移

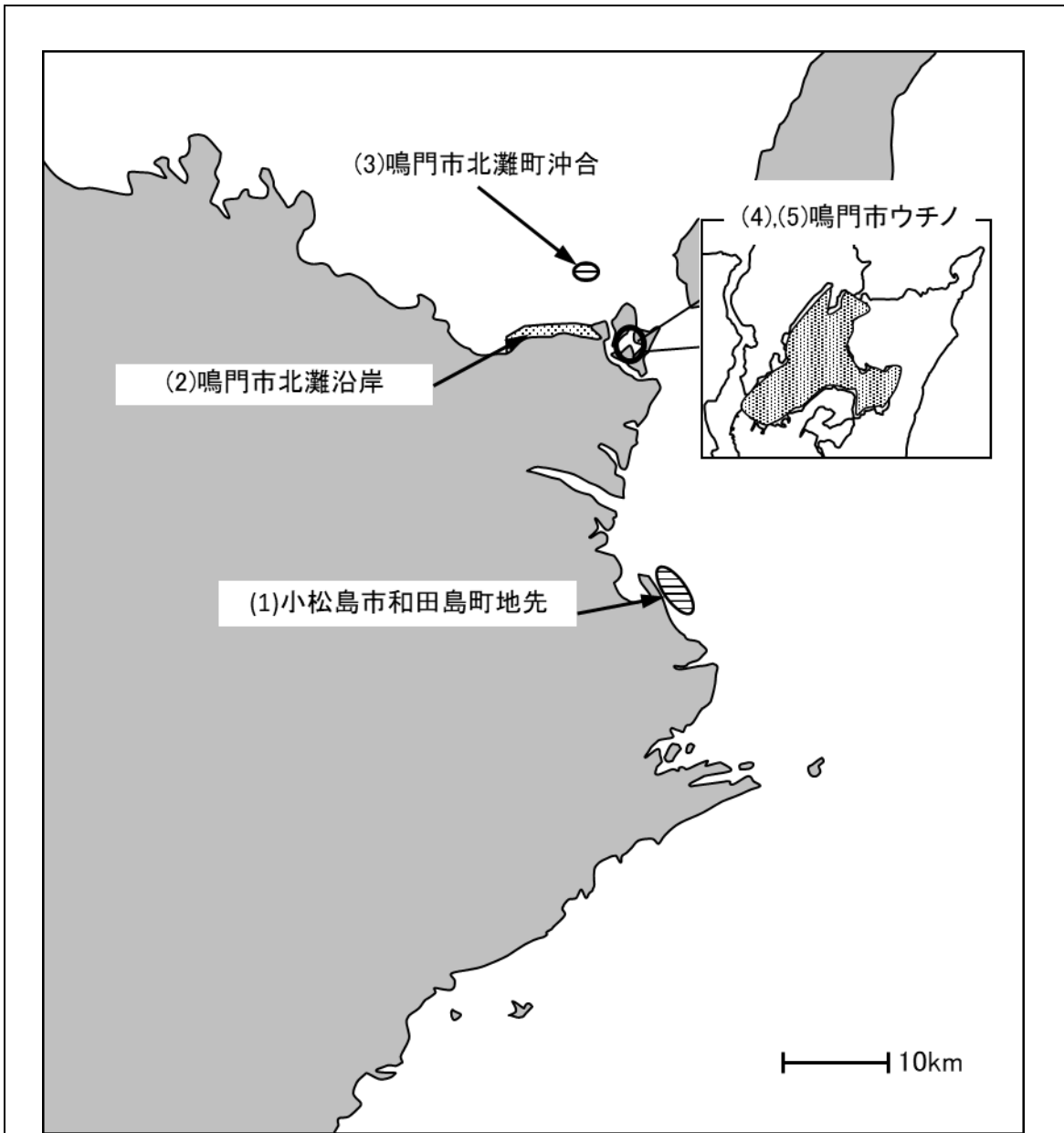


図 2. 赤潮発生海域

図中の番号は表 1 に示した赤潮の番号を示している。

<今後の課題>

特になし。

<次年度の計画>

継続する。

<結果の発表・活用状況等>

得られた知見やデータは水産振興課と情報共有を行い、赤潮情報は水産庁に報告した。